

謹賀新年

2014年 新年のごあいさつ — 大切なのは信頼関係

顔のみえる関係、声が聞こえる関係、心と心がふれあう関係。人と人との関係を大切に、患者さんや他の医療機関、介護施設との信頼関係を築くことを昨年以上に努力していく所存です。本気を持って、根気よく、継続していくつもりです。

院長 小川 洋史



写真：蔵の街(栃木市) (撮影：小川 洋史)

認知症の人との関わり方

新生会第一病院 病棟看護師(認知症ケア専門士) 伊藤 博美

認知症とは

認知症は、いったん正常に発達した知能(脳)に何らかの原因で記憶・判断力などの障害が起き、日常生活がうまく行なえなくなるような病的状態のことを言います。

認知症の種類には以下のものがありますが症状は少しずつ異なり高齢者の方に多く見られます。
「アルツハイマー型」「脳血管性型」「レビー小体型」「前頭側頭型」

症状

症状は、本人、周囲の人たちの気づかないところで徐々に進行しながら現れてきます。認知症は完全に治ることはありませんが、生活習慣(食事・運動・睡眠)を意識して脳を使う(人との交流)、薬物療法などで進行をゆるやかにすることは可能です。

1. 初期の主な症状

- ・同じことを何度も言ったり聞いたりする
- ・置き忘れやしまい忘れが目立つようになった
- ・興味や関心がなくなった
- ・時間や場所の感覚が不確かになった
- ・物の名前が出てこなくなった
- ・だらしなくなった
- ・些細な事で怒りっぽくなった
- ・お金や物など「盗まれた」と言うようになった

2. 環境の変化や身体状況、介護者の関わり方などが引き起こす主な症状

妄想、幻覚、徘徊、暴言、暴力、不安、意欲低下、不眠、食べられないものを口にする。

* 必ず見られるわけではなく、個人差がある。

けんこう百花77号

新生会
情報誌

#IOSPY

#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY

関わり方の基本

認知症の人との関わり方の基本は、介護する人が認知症は病気であるということをしかりと理解することが重要です。認知症の人は自分が誰かわからなくなること、記憶が失われていくことにとっても「不安」を感じています。認知症の人の行動には「意味」があります。騒いだり、徘徊したりするのはなぜなのか、認知症の人が歩んで来られた人生を考えて接してみましよう。脳の障害によって、表現の仕方や行動にズレが生じているのです。以下のことに注意して関わっていただければ、介護する人も心のゆとりが出来てくると思います。

関わり方のポイント

- ①「受け入れる」ことが大切である。
- ②自尊心を尊重する、話をよく聞く、同じ話でも真剣に聞く、本人の意志を尊重する。
- ③認知症の方のペースに合わせる、間違いであっても受け入れ怒らない、納得できるように話す。
- ④声掛けを多くする、不安にさせない。
- ⑤おかしな行動は故意ではなく病気のせいだと理解する。

認知症を予防する食事

新生会第一病院 管理栄養士 平賀 恵子

認知症のうち、下記の2つについては食事での予防効果が示されています。

アルツハイマー型認知症

抗酸化作用のあるビタミンEやビタミンCの補給が効果的であるとの報告がされています。

ビタミンC



ビタミンE



また、 ω (オメガ) 3系不飽和脂肪酸を多く摂り、トランス脂肪酸や、飽和脂肪酸は控えたほうが良いと考えられています。

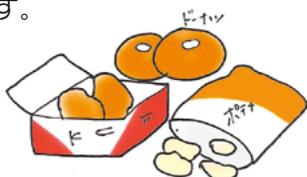
ω 3系不飽和脂肪酸



飽和脂肪酸



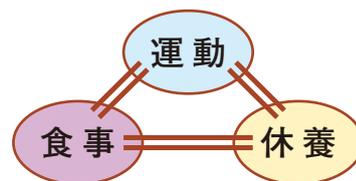
トランス脂肪酸は、魚油や植物油を加工する過程で発生する不飽和脂肪酸です。マーガリンなどの加工油脂類に含まれており、これらを用いたファーストフードや市販の惣菜、菓子類を頻繁に摂取するような食生活には注意が必要です。



脳血管性型認知症

脳梗塞などが繰り返し起こることが原因と考えられているため、予防のための食事は、脳梗塞など脳血管障害を予防する食事と同じになります。

肥満や高血圧、脂質異常症(高脂血症)、糖尿病などの生活習慣病を管理することが大切です。食事のバランスや過食に注意し、適度な運動、禁煙、節酒、休養が必要です。



特に、高血圧の予防が肝心ですので、食塩の過剰摂取を控え、食物繊維やカリウム、マグネシウムなどのミネラル類を豊富に含む食事を心掛けましょう。伝統的な和食は、野菜類、いも類、海藻類などミネラル類を豊富に含む食品を利用することが多いのですが、味付けに用いる醤油や味噌は、食塩含有量の多い調味料ですので、うす味を心掛け、漬物や汁物の摂取回数を減らすなどの工夫をしましょう。



* ビタミンC、E、脂肪酸の摂り方については、アルツハイマー型認知症の予防と同様です。



患者会に思う

ホスピーグループ腎透析事業部本部長 太田 圭洋

現在、日本の医療提供体制は大きな見直しが行われています。あまり一般の患者さんに伝わる機会は少ないですが、国は病院の機能分化を急激にすすめようとしています。具体的には、病院を急性期の患者(救急疾患やがん、心筋梗塞などの集約的な治療が必要な患者)のための急性期病院と、亜急性期の患者(すぐには在宅へ戻れないリハビリが必要な患者)のための回復期・亜急性期病院、そして長期療養が必要な患者向けの療養病院です。

しかし、その療養病院も入院の適応や、その数は厳しく制限され、介護だけが必要な患者さんは、介護系の施設や在宅での医療でみていく方針となっています。

普通の病気の患者さんは、在宅に開業医の先生が往診をする体制と介護サービスを整えれば支えていくことができます(これを地域包括ケア体制といい、国が重点的に進めている施策です)。



しかし、透析患者は、週に3回透析を行わなければ治療として成り立たないため、どれだけ開業医の先生が、在宅へ往診にいても治療になりません。

現在でも、通院困難になってしまった要介護透析患者さんの入院、入所先が不足している中で、この医療体制の変更は、体の弱った透析患者の行き場所がさらに不足し、大きな問題になるのではと危惧されています。高齢化がますます進行する中で行われるこの医療体制の改革において、透析医療の特殊性は、あまり検討されていないのが実情です。現在、透析関係の医師たちの集まりである日本透析医会は、厚生労働省にこの問題に関して、さまざまな情報提供し対処を要望しています。また全腎協も危機意識をもって活動をしています。しかし、非常に大きな流れの中で、思うように効果が上がっていません。



現在、新生会第一病院・十全クリニックの患者会は、参加する患者も減少し、活動もあまり活発ではありません。しかし、透析医療に関わる多くの医療費助成制度などは、透析黎明期の患者さんたちが、必死になって活動し実現した成果です。それが、あまりに当たり前になってしまい、大きな制度改革の可能性を前にしても、あまり危機感を持っていない患者さんが多いように思います。

高齢化が進み、また医療費が高騰し国家財政を圧迫している中、さまざまな制度が見直されていく可能性が高い状況になってきました。



**今、一度、患者会活動というものを、
真剣に考え直してみる必要があるのでは
ないでしょうか？**



【地域連携室からのお知らせ】第1回地域連携交流会報告

2013年9月27日、新生会第一病院にて近隣の介護系施設の方を招いて、「透析患者とは」をテーマに地域連携交流会を開催しました。透析患者の高齢化で通院困難・介護困難な患者の増加が見込まれる中、透析患者の受け入れができる介護系施設が少ない現状です。そこで、透析患者への理解、受け入れ側の問題となっている事柄を明らかにし、解決策を検討できればとの思いで開催しました。



今回が初回ということで、新生会第一病院の紹介、透析療法の情報提供として「透析患者とは」のミニレクチャー後、40分ほどの意見交換の時間を設けました。参加施設はサービス付高齢者向け住宅、福祉施設、グループホーム（認知症対応型共同生活介護）、有料老人ホームなどの介護系施設の施設長、事務職、ケアマネージャ、看護師、介護士の方々、8施設10名の参加がありました。透析患者を実際に受け入れた経験談や、受け入れた場合の通院の問題、透析患者の日々のケアでシャントの扱いなど、意見が活発に交換されました。

地域連携室 専任師長 佐々木 しのぶ

第20回 新生会オープンセミナーのご案内

日時：2014年2月1日(土) 13:30~15:30(受付13:00~)

『認知症を知ろう』シリーズⅡ

第一部：認知症の人との関わり方

講師：新生会第一病院 病棟看護師（認知症ケア専門士） 伊藤 博美

第二部：認知症を予防する食事

講師：新生会第一病院 管理栄養士 平賀 恵子

場所：新生会第一病院 集会室

お問い合わせ：052-832-8411（オープンセミナー担当者 橋本・市川）

参加者募集
締め切り
1月25日(土)



新生会第一病院 一般外来診療体制表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
一般内科	午前	○	○	/	○	○	○
腎臓内科		○	○		○	○	○
リウマチ科/整形外科		○	○		○	○	○
糖尿病内科/内分泌科	午後	○	○	○	○	○	○
リハビリテーション科	※	○	○	○	○	○	○

診療時間：

午前 9:00 ~ 12:00 (受付時間 8:30 ~ 11:30) / 午後 13:30 ~ 16:30 (受付時間 13:00 ~ 16:00)
(曜日、科により診療時間に変動あり)

◎糖尿病内科の日に、糖尿病栄養外来、糖尿病看護外来実施
◎リウマチ相談窓口あり

※リハビリ実施時間：

午前 9:00 ~ 12:00 / 午後 13:00 ~ 16:00

人工透析内科、透析ベッド 46 床、午前の部、午後の部あり

新生会第一病院

住所 〒467-8633 名古屋市瑞穂区玉水町1-3-2

電話 (052) 832-8411 FAX (052) 832-9063

ホームページ <http://www.hospo-shinseikai.org>

※当院外来では、予約制を実施しております。(初診の患者様、急変した再診の患者様、又、再診の方でも急に受診日を変更したい場合等は、予約がなくても受付けますので来院ください)

